

令和4年度 11月全校集会

令和4年11月10日

【落ち着いて学ぶことの大切さ】

10月の下旬から皆さんが勉強している教室へ行き、先生方の授業の様子を見ています。併せて、皆さんが教室でどのように勉強しているのかも見ています。ノートの取り方や、プリント学習の様子、タブレットを使って自分の考えをまとめている様子など、4月から取り組んできた成果や成長を見ています。

当たり前のことですが、授業が始まってダラダラしていると、50分の授業は瞬く間に45分になってしまいます。如何に先生の話聞き流さず集中して勉強に取り組むことができるのかが問われます。1日6時間5分ずつ私語をしたとしましょう。1日で30分、1年では42週間勉強するとして6300分、105時間もの時間を無駄にしています。勉強は授業時間に比例して学習効果がみられることが、昨年度の長野中の統計からある程度分かってきています。大切な5分、その時間は自分だけのものではありません。教室にいるみんなの時間です。

周りを見渡し、落ち着いて勉強して、自分勝手な5分をみんなの大切な5分に変えていきましょう。

【バーチャルから実体験の大切さ】

世の中ではバーチャル空間でいろいろ楽しむことが増えてきました。オンラインゲームもあり、私が中学生の頃には、ゲームセンターにしか楽しむゲーム機がなかった時代から、今は自宅にいながら対戦できるようになっています。世の中はバーチャル空間が広がっていくでしょうが、実体験を伴わない世界が広がっていくと、人の喜び、怒り、悲しみや楽しみなど、喜怒哀楽の感情はなくなってしまうのではないかと危惧しています。

昨日、教室の授業を見学していました。皆さんの周りにある体験を話の中に入れ、実験が模擬体験できるように、先生が時間をかけて丁寧な動画を作成したのが分かる授業を見ました。例えば話も面白く、教室では楽しそうに勉強をしていました。マッチや火のついたライターを触るとやけどをします。当たり前のことです。学校では、授業以外にも様々な体験を通じて危険を回避することも学んでいます。

皆さん想像してみてください。歯医者さんが患者さんの治療をする時に、何も考えずにゴリゴリ削ってしまうとどうなるでしょうか。患者さんはたまったものではありません。歯の神経に触るようなゴリゴリの治療をすると、二度と行きたくありませんね。患者さんの気持ちになって治療を進めていくことは、患者さんに信頼される歯医者さんには大切なことです。痛いと言えない患者さんの気持ちを大切に。

同じように、体験しないとわからないことでも、相手がどんな気持ちなのか想像しながら接することで、その気持ちは必ず伝わります。

昨日の授業でもタブレットを持っていなかった子に、タブレットを取って渡してあげる子がいました。また、自分が書いたノートをそっと前の子に見せてあげていました。ノートを借りた子はありがとうとお礼を言っていました。私は、とっても相手の気持ちが分かる優しい子ではないかと思っています。なかなか、自然とできる子はいませんね。私ならその子が言うことは素直にききます。だって、いろんな子の気持ちが分かっているのだから、間違いはないと安心して話をききます。

実体験しないとわからないことは、AIが進んでも人間にしか理解できないこともあるはずです。人と人とのつながりはこれからも大切に育てていきましょう。